

日本建築家協会
推薦図書

建築家の自由

鬼頭梓と図書館建築

「建築家とは何か」を問いつづけ、戦後の図書館建築に大きな功績を残す建築家鬼頭梓の強靱な言葉を、次世代の建築家たちに届ける一冊。

アーキテクトがプロフェッションとされているのは、その仕事は、人々の健康や安全と共に、社会公共の利益に深く関わっているからに他ならない。
私が建築家と言うとき、私はこの様な職業者を意味しているのであり、それは建物の設計監理を職業とするすべての人々を包含した概念でなければならないのである。

鬼頭 梓「職業者としての建築家」より

鬼頭梓先生は日本の近代建築の祖ともいうべき前川國男先生の高弟で、日本建築家協会の運動の後継者としても卓越した見識をもつ建築家である。設計者としては特に日本の図書館建築の発展に大きな貢献をされた。その作風は一言でいえば静謐かつ質実な空間といえる。先生の作品と行動は私たち多くの建築家に大きな影響を与えた。 建築家 仙田 満

「普通性を高める」これは簡単なようで実はなかなか難しい事なのである。鬼頭先生の建築には美学、哲学に裏打ちされた普通性があるのである。近頃の建築を見ていると変に奇を衒った、キツくて軽薄な建築が多いなかで先生の建築は精神性の高い建築である。 JIA会長 出江 寛

本書の内容

- ・鬼頭梓ロングインタビュー「私の原点」
- ・論考「建築家の自由」「職業人としての建築家」「土地と人と建築と」
「わたくしの疑問」「私のパッサ」
- ・論考 松隈洋「鬼頭梓の育んだ風景 『生活の根拠地』を図書館に求めて」
- ・インタビュー 前川恒雄(元日野市立図書館長、元滋賀県立図書館長)
- ・資料 作品リスト、著作リスト、職能運動史年表、鬼頭梓年譜

(株)建築家会館は、建築家の人間像や職能論を書籍に記し、後世に伝承するとともに学生諸君や社会一般の幅広い層に理解いただく目的で出版事業に取り組みます。本書はその第一巻であり建築家鬼頭梓氏の登場です。

(株)建築家会館代表取締役 南條洋雄

建築家の自由 鬼頭梓と図書館建築
鬼頭梓＋鬼頭梓の本をつくる会 編 / A5版上製、104ページ / 1,890円(税込)
企画:建築家会館、発行:建築ジャーナル / 2008年6月20日発行
ISBN:978-4-86035-060-4

FAX 03-3861-8205 またはE-mail: tokyo@kj-web.or.jp

お名前または貴社名(ふりがな)
*法人の場合はご担当者様もご明記ください

冊

ご住所 ()

TEL. FAX

E-mail

* 価格は税込の金額です(別途送料がかかります)。商品到着後、同封の振込用紙(または銀行振込)でお支払いください。